

『ひと集い 学びあふれる 生涯きらめきのまち つる』

【もっと前に進むための5つの柱】

1 生涯活躍のまち事業の推進

～『生涯活躍のまち』

- 「生涯活躍のまち・つる」事業の推進
 - ・単独型居住(下谷)プロジェクト
 - ・複合型居住(田原)プロジェクト
- おかね・からだ・こころの安心プログラム
- 介護従事者対策(ロボット活用・雇用確保)
- 大学連携の強化
- 移住・定住対策の強化
(多様な住まいニーズへの支援など)

2 道の駅つるを核とした地域活性化

【産業・基盤分野】～『活力みなぎるまち』

- 農業就労者の拡充とニーズに合った仕組みの構築
- 都留市版DMO
(着地型観光管理組織設立とプログラムづくり)
- 地場産業の再興と活性化
(モノづくり・異業種連携)
- 就業マッチングの仕組みと組織の構築
- シルバー産業の構築
- 歴史・芸能・文化の発信

3 心豊かに暮らせるきらめきのまちづくり

【福祉・健康・子育て分野】～『笑顔と元気のまち』

- すべての世代の健康増進
(健康ジム・健康ポイント・いーぼしよ)
- 子育て環境の充実
- 障がい者の自立支援
- 健康寿命の延伸
- 地域包括ケアシステムの構築
- 地域支援ネットワークの充実

[共通]行財政分野

- 健全な行財政運営の継続
- 働き方改革の推進

4 『教育首都つる』のさらなる推進

【教育分野】～『学びあふれるまち』

- 「教育首都」ブランドの確立
- 大学連携強化
- 教育力の向上(学力向上・特色ある教育)
- 学生の確保
- 学生・生徒・児童の安全安心への取組強化

5 まち・ひと・心・身体にも安全で安心なまちづくり

【生活・環境 安全・安心、コミュニティ分野】
～『安全で安心なまち』

- 「セーフコミュニティ」の実現
 - ・WHO(世界保健機構)への認証登録に向けた取組
 - ・事故、ケガ、犯罪の予防(医療、消防、警察等の連携)
 - ・交通安全(子どもから高齢者まで)
 - ・地域コミュニティ活動の充実(共助の連携強化)
- 水質保全の取組強化
(地下水保全・下水道・合併浄化槽の普及)
- 美しい街並みの整備(空家対策・景観確保)
- 高齢者にもやさしい公共交通

地区ふれあい集会を開催します！

市政に関する疑問や提案などについて、市長と気軽な雰囲気意見交換する『ふれあい集会』を開催します。日頃、都留市について考えていることを、市民の声として、直接、市長に届けてみませんか。

開催日時・場所(開催順・約90分程度)

- 東桂地区(東桂地域コミュニティセンター)
1月15日(月) 午後7時～
- 盛里地区(盛里公民館)
1月17日(水) 午後7時～
- 三吉・開地地区(都留市役所3F大会議室)
1月22日(月) 午後7時～
- 禾生地区(禾生地域コミュニティセンター)
1月24日(水) 午後7時～
- 谷村地区(都留市役所3F大会議室)
2月2日(金) 午後7時～
- 宝地区(宝小学校1F多目的ホール)
2月6日(火) 午後7時～



新年のごあいさつ

都留市長 堀内 富久

あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、私は、昨年の都留市長選挙におきまして、無投票当選の榮譽に浴し、引き続き市政を担当させていただくこととなりました。改めて市長という職責の重さに身の引き締まる思いであり、皆さまから寄せられました信頼と期待に応えるため、新たな決意と情熱をもって、この歴史ある都留市をさらに発展

させるため勇往邁進する所存でありますので、今後ともなお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

私はこれまで、『成長戦略』県政とのパイプ『行動力』をキーワードに、公平・公正・即断即決と有言実行を信条に、スピード感と積極性を重視しながら市政に取り組んでまいりました。

その中で、本市の市政運営の羅針盤となる『第6次都留市長期総合計画』を、平成28年度より11年間にわたるまちづくりの指針としてスタートさせ、実践的で効果的なまちづくりに積極的に取り組んでいるところでもあります。

2期目の都留市政を担うにあたりましては、この『長期総合計画』を基本として、人口減少・少子高齢化が進行する今後であっても、いつまでも元気で、生涯を通して、きらめくような人生を送ることができるよう『ひと集い学びあふれる生涯きらめきのまちつる』の将来像の実現のため、今後とも一層の努力をしてまいります。

この『長期総合計画』では、重点的に取り組む施策を『リーディング・プロジェクト』として位置付けており、『生涯活躍のまち(CCR)事業の推進』、『道の駅つるを核とした地域活性化』、『教育首都つる』のさらなる発展、『心豊かに暮らせるきらめきのまちづくり』の4つの柱を立て、まちづくりを進めております。

来年度に向けては、このリーディング・プロジェクトの4つの柱を、さらに大きく展開させるとともに、5つ目の柱として、これまでの様々な地域活動施策を連携・発展させるため、『安全で安心なまち』への取り組みである『セーフコミュニティの実現』を推進してまいります。

この『セーフコミュニティ』とは、WHO(世界保健機構)が認証機関となる世界的な活動であり、『事故』や『ケガ』は偶然の結果ではなく、原因を分析することにより予防できるという観点から、これまで本市や市民の皆さまが取り組んできた地域活動に、科学的な手法も取り入れ、体系化・数値化して整理・活用する中で、市民の皆さまと行政・関係機関などの更なる協働により、『まち・ひと・心・身体にも安全で安心に暮らせるまち』を創る取り組みとなります。

これからも、常に『考えること』に重きを置き、諸課題を探索し、考え、市民の皆さまとのコミュニケーションを大切に、チャレンジする姿勢を持って、全力で取り組んでまいります。そして、このまちが、将来にわたって安心して心豊かに暮らすことのできる、活力あるまちとして確実に歩みを進めてまいります。

結びに、本年が皆さまにとって幸多き年となりますことをご祈念申し上げ、謹んで年頭のごあいさついたします。